

事務事業評価表

平成14年度	主要事業計画対象の有無	有	電話	042(769)8263
担当部課名	土木部	道路整備	課	都市計画道路
事務事業名	相模大野線道路改良工事		事業コード	32120

1 総合計画における位置づけ

政策名	第2章	質の高い都市基盤の整備を進めます	事業開始年度
基本施策名	第1節	骨格幹線道路網の整備	13年度
施策名	第2施策	市内幹線道路の整備	

2 実施根拠及び関連法令等

都市計画法、道路構造令、道路法

3 事業概要

(1) 事業の目的 本事業は、歩行者の交通安全と地域の骨格となる道路を整備するものであり、通過交通による生活道路への影響を排除するなど、都市基盤整備事業である。		(2) 対象(誰、何) 通過車両及び自転車、歩行者	
		対象数	不特定多数
(3) 平成13年度事業の内容 都市計画道路相模大野線道路改良事業 工事延長L = 119.0m 道路幅員W = 16.0m		(4) 総合計画・実施計画における概要 新たな総合都市交通計画と整合した道路網の整備 都市計画道路の整備	
		(5) 個別計画の概要	
		計画名	都市計画道路相模大野線道路改良事業(第2工区)
		計画年次	13年度～17年度
		平成13年度より道路工事を実施し、平成17年度の完成を目指し事業を実施。 第2工区：事業延長 L = 462m	

4 評価指標

指標名	整備実施率		
指標式	当該年度の整備実施延長 / 当該年度の整備計画延長		
指標設定の意図	当該年度における計画的な道路整備の実施状況		

5 目標と実績

[金額単位：千円]

	平成11年度	平成12年度	平成13年度(評価対象年度)		平成14年度
	実績	実績	実績	目標	目標
指標			a 119	b 119	80
指標			c	d	
指標			e	f	
事業費	決算(予算)額		30,232	30,233	34,600
	人員・時間数		0.5人	0.5人	0.5人
	人件費		4,210	4,210	4,210
	その他経費				
	合計	0	34,442	34,443	38,810
特定財源			26,400	26,400	31,100

6 個別評価

(1)達成度…目標をどれだけ達成したか			
評価 A ▼	A : 達成している (100%)	= 、 、 の平均値 = 100.0%	
	B : 一部達成していない(100%> 80%)		
	C : 達成していない (80%>)		
$\frac{a}{b}$	$\frac{119.0}{119.0} \times 100 = 100.0\%$	$\frac{c}{d}$	$\times 100 =$
$\frac{e}{f}$	$\times 100 =$		
理由 :	事業は、複数年計画の中で実施されるため、総事業評価では達成度は低くなる。なお、単年度における事業実績については、目標を十分に達成している。		

(2)必要性…時代変化に適応した事業内容か			
評価 A ▼	A : 適応している	理由 :	現道は、歩道が設置されておらず、また見通しも悪いため安全上、支障をきたしている。歩行者や自転車の安全性の確保、また都市基盤整備の観点からも重要な事業である。
	B : 一部適応していない		
	C : 適応していない		

(3)経済性・効率性…費用対効果は妥当か			
評価 B ▼	A : 妥当である	理由 :	未取得用地があり、計画的な道路整備が実施出来ない箇所があるため、連続性を欠いている。
	B : 一部妥当でない		
	C : 妥当でない		

(4)事業の代替性…県、民間との役割分担のあり方から見て、市が実施していくことが適当か			
評価 A ▼	A : 代替の可能性ない	理由 :	事業主体が市であるため、可能性はないが、事業の円滑な実施や交通安全に対する啓発など、地域とのより一層の協力体制を検討することが、今後も必要である。
	B : 代替の可能性低い		
	C : 代替の可能性高い		

(5)市民満足度…対象市民の満足は得られているか			
評価 B ▼	A : 満足できる	理由 :	一部、用地未取得箇所について、計画的な道路整備が実施出来ない箇所があり、一刻も早い供用開始が望まれている。
	B : 一部満足できない		
	C : 満足できない		

(6)有効性…当該事業は上位の施策を実現する上で有効か			
評価 A ▼	A : 有効である	理由 :	本路線は、相模大野駅と相模原市南部地区を結ぶ幹線道路であり、市民の安全な生活環境の確保など、質の高い都市基盤の役割を担う。
	B : 一部有効である		
	C : 有効でない		

<p>評価バランスチャート</p>	<p>成果向上の余地</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> ある</p> <p><input type="checkbox"/> ない</p> <p>説明 : 地権者の協力を得て、連続的な事業の実施をすることにより、早期の完成を目指す。</p>
	<p>コスト改善余地</p> <p><input type="checkbox"/> ある</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> ない</p> <p>説明 : 事業にかかる経費をこれ以上圧縮することは困難である。</p>

7 総合評価

評価 A ▼	A	他自治体の類似事業との比較	他自治体においても基準となる道路構造令等により構造等を決定し、事業を実施している。
今後の進め方		説明	本路線は、朝夕の通勤・通学時間帯には歩行者・自転車車が車道を通行し自動車と輻輳していたが、歩道整備済み箇所では、自動車・歩行者等の通行における安全性の向上がはかられた。引き続き未整備箇所の早期整備を行う必要がある。
<input checked="" type="checkbox"/>	継続		
<input type="checkbox"/>	見直し		
<input type="checkbox"/>	廃止		
<input type="checkbox"/>	完了		

8 二次評価における変更点

--